

経済情勢について

平成20年11月14日
内閣府

〈日本経済の基調判断〉（10月月例経済報告）

景気は、弱まっている。



- ・輸出は、緩やかに減少している。
- ・生産は、減少している。

- ・企業収益は、減少している。
- ・設備投資は、弱含んでいる。

- ・雇用情勢は、悪化しつつある。
- ・個人消費は、おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きもみられる。

（先行き）

- ・先行きについては、当面、世界経済が減速するなかで、下向きの動きが続くとみられる。
- ・加えて、アメリカ・欧州における金融危機の深刻化や景気の一層の下振れ懸念、株式・為替市場の大幅な変動などから、景気の状態がさらに厳しいものとなるリスクが存在することに留意する必要がある。